

桜川文芸

俳句

【桜川市岩瀬「萩」俳句会】
草虫零れる時も灯りけり

アパートの目立つ空室梅雨に入る

蚕豆を摘みまますの余生かな

仏画にもそれぞれの面半夏生

ふる里に新たな道や夏の雲

足音のついてきさうな夜の螢

更衣ポケットにある去年のメモ

【茂山俳句会】
窓少し開けて看取りの若葉風

古稀にしてときめきがあり更衣

鼻欠けの石仏囲み著莪咲けり

風拾ふことに始まる薄暑かな

自転車に余生の背中風薫る

晋平の館に生まるシャボン玉

肩巾の広かりし父松の芯

藤田 凡鐘
萩原 勅彦
若色寿美女
仁平 房女
金田とう女
島田喜与子
萩原きしの
宮本 芳江
植田 祥雲
海老沢静夫
鶴見 菊江
泉 健作
今井 繁子
鈴木ノブ子

桐の花淡き記憶の中に母

母の日を祝され今に母あれば

夕端居女盛りはとうに過ぎ

ひとひらの又ひとひらと散る牡丹

皮を脱ぎ伸び行く竹に力あり

母の日や遺品の中の鯨尺

病みてなほ生きる活力新茶煮る

老鶯の身ほとりに鳴き草を引く

さなぶりやむかしは結びの燈を煌と

【一般投稿】
筑波嶺を望む梨棚花盛り

首あげて折々青葉見では病む

【真壁短歌会】
花かすむ野にも山にも風が吹く

青葉の夏を招くとて吹く

井坂 洋子
大関 くに
松崎 いま
吉原 秀子
田崎 信子
関根 幸子
海老沢幸子
竹林 てる
飯山 昭
木下 善信
広瀬 宜
田中 要

俚謡

【さくら俚謡会】
利根の水面が静かな宵に

揺れる小舟のふたりづれ

とどく所にあるしあわせを

知らぬ女の酔いつぶり

選挙ラッシュに戸迷う螢

どこで安らぐ甘い蜜

吾が視線無視していつもの野良猫が
悠々と消ゆ著莪の花かけ

つくし湖の桜に心を満たしつつ、

「ふれあいの里」にも異国の母子

逝きし人の化身か白蝶舞まいて

吾が身めぐりをつかずはなれず

わが為にはつか香に立つ鈴蘭の

めぐり寧ろに草引きており

【一般投稿】
春は花夏は緑に秋紅葉冬は雪白

すべてよる四季

満々と水を湛えて春耕の

田の面は早苗を待つばかりなり

青木 栄子
市村 ヤス
小林 和子
根本よし子
宮田 君江
木下 善信

稲葉 建正
田 哲人
つく志輝美

葬儀費用等でお悩みの方 **さくらクラブ 会員葬 198,000円** 総合葬祭 **こもり** さくらクラブ 会員募集 会費のみ **1万円**

全ホール共通価格 (ホール使用料無料) 会員特典葬儀費用から **①10万円引き** **②花環・盛籠10%引き** **③仏壇・位牌50%引き**

0120-44-4483 年中無休24時間対応